

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

作製日 2018/06/28

事業ID	135	2次評価 対象外事業	分野	2	02 健康・福祉	課名	健康課
事業コード	00001		基本施策	3	03 3 みんなで支え合う福祉のまちづくり	班名	高齢介護班
事業名	シルバー人材センター補助事務		大施策	1	01 1 高齢者保健福祉の充実		
			小施策	3	03 3 社会参加の促進と生き生きとした生活の支援		

◆事業の説明

◆事業の予算

(単位:千円)

事業の概要	高齢者が働くことを通じて社会参加をし、生きがいの充実と健康の増進を図ることを目標にしているシルバー人材センターを補助する	会計	001	款項目	03	01	02	大事業	000701000	シルバー人材センター補助事務	
			H29決算額		H30決算見込		H31事業費		H32事業費		H33事業費
		直接事業費	2250		2260						
		人件費	224		0						
補足説明	この補助金は地方公共団体が応分の補助を行うとの規定があり当該年度における国庫補助交付額が町の交付する補助額となる	事業費合計	2474		2260						
		国庫支出金	0		0						
		県支出金	0		0						
		地方債	0		0						
根拠法	町シルバー人材センター補助金交付要綱		その他	0		0					
計画等	高齢者福祉計画・介護保険事業計画		一般財源	2474		2260					

◆事業の対象・活動・成果

◆事業の指標

対象 (誰・何に)	中井町シルバー人材センター	対象 (誰・何に)	指標	単位	H29実績	H30見込	H31計画	H32計画	H33計画
			中井町シルバー人材センター	団体	1	1	1	1	1
活動 (何を)	シルバー人材センター運営補助金の交付	活動 (何を)	会員数	人	125	130	135	135	135
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
成果 (めざす形)	高齢者の就業の機会の確保と生きがい対策	成果 (めざす形)	受託件数	件	343	350	360	370	380
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

◆事業の現況評価

◆事業の状況・課題・提案・方針

必要性 [4点] 依然としてニーズが高い		状況	シルバー人材センターより事業実施計画書を提出してもらい、補助金を交付する				
		課題	会員の平均年齢が高くなるなか、新たな会員拡大が今後の課題である。また、大幅な受注量も見込めないなどシルバー人材センターをとりまく現状は厳しいものである。				
		提案					
		方針	高齢者の就業機会創出のためにセンターの果たす役割は大きく、センターの安定的な経営を保持するため、運営費に対する補助は必要である。				
		一次評価 (主管課)	②現状維持		二次評価 (内部評価)	③改善効率化	
		必要性	事業の必要性は薄らいでいませんか？				
		必然性	行政が関与しなければならぬ事業ですか？				
緊急性	即座に対応しなければならぬ事業ですか？						
実効性	手段(やり方)は適切なものとなっていますか？						
時代即応性	事業の目的が色あせていませんか？						
持続可能性	やればやるほど職員の負担となっていないですか？						
評価理由	民間企業からの受託件数が増えるなど、一定の成果があるものの、会員の高齢化が今後の課題である						